

令和4年度 北見カトリック学園 北見聖母幼稚園 学校評価

1. 教育目標

キリストに倣い、神を敬い、信じ・愛する心・感謝する心を養い更に祈る心を育てよう努める
子ども像
1、「ありがとう」「ごめんね」「いいよ」の心を素直に表現できる子
2、命の尊さを知り、すべてのものを大切にできる子
3、他者との違いを認め受け入れられる子
4、相手の気持ちを考えると共に自分の考えを相手に伝えられる子
5、人の話をしっかり聞き、じっくり考える子
6、強い心と身体で、自発的に行動する子

2. 教育目標達成に向けての令和2年度の重点

(1)キリストの愛の精神『ありがとう・ごめんね・いいよ』の実践
(2)特別支援教育・保育の充実(一人ひとりの発達段階に応じた支援のあり方を見つけ実践する)
(3)園生活を通して神様の恵みに気づき感謝の気持ちを育て祈る(神様からのプレゼントを見つけよう)
(4)【楽しい幼稚園】を目指し保育内容と職員研修の充実を図る

3. 評価項目の達成状況

評価項目	結果	理由
教育内容・環境の充実と計画性	3.8	教育内容等、積み重ねが難しかった。職員の保育力の向上が課題である。楽しく保育する・楽しい保育について、コロナ禍で色々な制約のあるなかではあったが、充実を図ることができた。
保育の充実と園児との関わり	3.8	園内外の研修を充実させることができた。職員の保育力のばらつきが大きく、連携を取りチームとして保育に携わることへの理解が難しく感じた場面が多かった。
安全管理	3.8	コドモンの登降園管理システムにより、園児の安全管理が充実できた。園バスの置き去り防止の職員研修や、園児が実際に警察職員と対策訓練ができ安全管理へと繋がった。感染症対策は充実でき良かった。
地域の幼児教育機関としての役割	3.8	コロナ禍で地域との関わりが少なく残念だったが、預かり保育・未就園児教室等で地域の子育て支援の拠点としての役割を果たすことができた。今後は、ブログ等の発信を増やし情報提供を充実させる。
教員の資質・能力向上	3.7	リーダー研修や園内研修の充実を図ることができた。職員構成が新しくなり保育・教育の積み重ねが難しかった。園外の研修は、コロナ禍であったが積極的にZOOMやオンラインでの参加ができた。
保護者との連携	3.9	コドモンの導入により、保護者アンケートや連絡がスムーズにできた。栄養士の配置により、食育だよりの発行等で状況提供や、情報の共有の充実を図ることができた。保護者支援の必要性を強く感じた家庭が増え、関係機関との連携を密にとり支援の充実を図ることができた。

※結果の表示方法 4 十分達成されている 3 やや達成されている 2 あまり達成されていない 1 取り組まれていない

4. 令和4年度の総評

結果	理由
3.8	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も、新型コロナウイルス感染症対策のための取り組みを年間を通して実施し、保護者の理解を得て感染対策が充実でき良かった。行事等も職員の話し合いを重ね、保育の見直しができる。 職員の研修はコロナ禍ではあったが、ZOOMやオンラインを活用し充実できた。 3クラス体制となり、新任や異動職員を迎えクラス運営や職員の連携に課題が残った。 ICTの活用を進め始めたが、まだ職員の負担軽減までには至らず、今後も取り組み内容を精査する必要があると感じている。

- 行事の取り組みの検討(コロナ5類に移行後)
- 未満児保育開始に伴い職員の勤務体制の見直し
- 未満児保育の保育内容の充実を図る
- 保護者支援の充実(関係機関との連携)
- 魅力ある幼稚園作りを職員全員で取り組む
- コドモンの活用の充実を図り、職員の仕事の軽減に繋げる